

「県産農林水産物 安全・安心実感ツアーin 広野、檜葉、川内」を開催しました。

小学生とその保護者を対象に、生産者の皆さんとの交流や農作業体験などを通して、双葉地方の農林水産業の再開や安全・安心の取組について、親子で楽しみながら学べる日帰りバスツアーを、平成29年11月5日に開催しました。

小学生と保護者10組24名の参加があり、始めに広野町のみかんの丘を訪問し、広野町におけるみかん栽培の歴史について説明を受けました。

次に、川内村の農業者を訪問し、営農再開の状況や取組等について説明を受けた後、ほうれんそう種まきとエゴマの脱穀作業を体験しました。その後、ライスセンターへ移動し、特別栽培米（里山のつぶ）の取組、ライスセンターの施設の役割等について説明を受けました。

昼食は、川内村のいわなの郷へ移動して、川内産の野菜（玉ねぎ・人参・ピーマン・しいたけ・ナス・カボチャ等）および米を使用したバーベキューを行い、地元産農林水産物の安全・安心や美味しさを実感しました。

昼食後は、あれ・これ市場を訪問し、市場の概要やこれまでの経緯等について説明を受けました。市場では、川内村の新鮮な農産物をはじめ、特産品・加工品等が販売されていました。

最後に、木戸川漁業協同組合を訪問し、木戸川で伝統の「合わせ網漁」を見学しました。サケが水揚げされると子どもたちは、飛び跳ねる姿に驚いていました。サケのふ化場では、卵から稚魚を育成して川へ放流する仕組みを学ぶとともに、サケの放射性物質検査では、非破壊式放射線セシウム濃度測定装置を使用した放射性物質の検査方法について説明を受け、サケの安全性について再認識しました。

参加者からは、「双葉地方の営農再開の状況が見られて良かった。」「ほうれんそうの種まきやエゴマの脱穀、水揚げされたサケを生で触れたりと良い経験になった。」との意見がありました。



みかん畑の見学



ほうれんそう種まき体験



ライスセンターの見学



サケの合わせ網漁の見学